Aへのリンク：□をクリック

2－5. 省エネ-ゴミ		
整理番号	相　　談・質　　問	Q&A番号
2－5－1	家庭からゴミが1日１kg出ると聞きました。チョッと多いように思いますが家庭ゴミの範囲はどこまでのことをいうのでしょうか	22
2－5－2	宇部は生ゴミを燃焼処理しています。他都市では、生ゴミを発酵させて処理しているそうですが、宇部ではそのような計画はありませんか？	27
2－5－3	ゴミの量が増えて焼却などでＣＯ２が増えると聞きます。ペットボトルなどは、1度きりで捨てなくて、何度も使えば良いと思いますが どうでしょう？ 外国でペットボトルを何度も使うシーンをテレビで見たことがありますが・・・・	38
2－5－4	ファースト・フード店などは、紙はプラスチック製の使い捨て容器の使用が大半でちょっと注文するだけで、たくさんのごみが発生します。 瀬戸物や金属の容器を出す、ファーストフード店などはありますでしょうか？	40
2－5－5	コンビニエンスストアなどの24時間営業は、エネルギー消費を助長していると思いますが日本でも夜間営業規制の動きはないのでしょうか？	41
2－5－6	C2Cという言葉を聞きましたが、C2Cってなんですか？	67

整理番号	受 付 年 月 日	相 談 者 氏 名	相 談 手 段
2-5-1	2010.8.19	匿名	直接

質　問 Q22

家庭からゴミが１日１kg 出ると聞きました。チョッと多いように思いますが家庭ゴミの範囲はどこまでのことをいうのでしょうか

回 答 A22

廃棄物について、法律は「有価物」にならないゴミ、粗大ゴミ、燃焼殻、汚泥、ふん尿、廃油、廃酸、アルカリ、動物の死体、その他汚物又は不要物という定義をしています。

廃棄物のうち、事業所から発生する燃焼殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチックその他政令で定める 20 種類を産業廃棄物といい、それ以外を一般廃棄物といいます。又、事業者から排出される廃棄物で、産業廃棄物に該当しないものを、事業系一般廃棄物といいます。産業廃棄物及び事業系一般廃棄物は、事業者の責任で処分することが定められていますが、事業系一般廃棄物の一部は、一般廃棄物の処分場で処理されているものもあります。

家庭ゴミとは、家庭から排出される一般廃棄物のことをいいます。しかし、実際は上記のように、事業所からのゴミの一部が、自治体等の一般廃棄物の処分場で処理されており、家庭ゴミの数値の中には事業所からのゴミも含まれていると思われます。

詳しくは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を参照して下さい。

以上

整理番号	受 付 年 月 日	相 談 者 氏 名	相 談 手 段
2-5-2	2010.8.26	匿名	直接

質　問 Q27

宇部は生ゴミを燃焼処理しています。他都市では、生ゴミを発酵させて処理しているそうですが、宇部ではそのような計画はありませんか？

回 答 A27

宇部市では今年９月から、ダンボールコンポストによる、生ゴミの処理事業を開始します。

これにより、家庭から出る生ゴミを各家庭で処理し、生ゴミの排出を減らすことができます。

また処理した生ゴミは有機肥料として利用できます。

宇部市の最終処分場の処理能力は、現状の排出量が続けば、残り 13 年だそうです。

１人１人が無駄なゴミを排出しないように心掛けることが必要です。

以上

整理番号	受 付 年 月 日	相 談 者 氏 名	相 談 手 段
2-5-3	2010.9.27	匿名	直接

質　問 Q38

ゴミの量が増えて焼却などでＣＯ２が増えると聞きます。ペットボトルなどは、１度きりで捨てなくて、何度も使えば良いと思いますが どうでしょう？ 外国でペットボトルを何度も使うシーンをテレビで見たことがありますが・・・・

回 答 A38

１．ゴミの排出量

今、日本では、１日に一人当たり約 1kg のゴミ（一般廃棄物）を排出していると言われています。（環境省調査）宇部市は、若干少ないですが、2009 年度一人当たり 879ｇを排出しています。

２．ゴミの処理

ごみは、燃えるものは焼却し、燃えないものは、最終処分場で埋め立てをおこないます。当然、焼却では CO2 が排出しますし、埋め立てにも限界があります。従ってゴミを減らすことが非常に重要です。（ゴミ処理による CO2 排出量は 0.34kg-CO2/kg（全国地域別環境家計簿 http://www.carbonfree.jp）です）

３．ゴミの削減

１）ゴミを生まない

ゴミを出さないためには、ゴミを生まない生活が必要です。

① 無駄なものを買わない

② いいものを大事に、永く使う

２）ゴミを減らす 4R

下記の４つをゴミを減らす４R といいます。

①Refuse いらないものは断る　（例）レジ袋を断る、不要な包装を断る

②Reduce 減らす　（例）詰め替えにより、容器ゴミを減らす

③Reuse 再利用する　（例）空瓶を使い回す、ペットボトルを再利用する

④Recycle 再資源化　（例）解体し再度原料として利用する

まず、必要ないものはいりませんと言って断る、次に必要以上に買わない、壊れたら直したり、何回も洗って使って、それでも使えなくなったら最後にリサイクル、溶かしたり別の用途に使ったりするということです。

３）リユース（Reuse）とリサイクル（Recycie）

リサイクルは、リサイクルの過程で新たなエネルギーが必要になります。ペットボトルでいえば、まず一度エネルギーを使って溶かし、それから新たに製造する事になります。ドイツなどでは、ペットボトルは、非常に丈夫に作られていて何回も洗浄して使っているそうです。（リユース） どちらもゴミの量は、増えないかもしれないけれども洗って使えるものを又作り直すのは無駄な事だと思います。私ごとですが、夏は飲み終わったペットボトルに冷たいお茶をいれて持ち歩いています。ペットボトルをリサイクルした服もありますが、エネルギー的にも無駄ですし、CO2 が排出します。

（この回答は一部インターネット（http://oshiete.goo.ne.jp）を参考にしました）

整理番号	受 付 年 月 日	相 談 者 氏 名	相 談 手 段
2-5-4	2010.9.28	匿名	メール

質　問 Q40

ファースト・フード店などは、紙はプラスチック製の使い捨て容器の使用が大半で ちょっと注文するだけで、たくさんのごみが発生します。 瀬戸物や金属の容器を出す、ファーストフード店などはありますでしょうか？

回 答 A40

この件について、インターネット上に FoE Japan 京都ローカルグループという団体が、「京都リユース推進フォーラム「ファーストフードも脱・使い捨て?！」京都市内のお店調査の報告」を掲載しています。調査は京都市内の 161 店舗のうち約 100 店舗を調査し、食器類のリユースの情況を報告しています。調査は、①ホットドリンクとアイスドリンクの違い　②全面リユースか、一部リユースか　③使い捨てか　④一部リユースするのはどの様な場合か、についておこなわれ、一部聞き取り調査も実施されています。

調査結果はそれぞれファーストフード店系列別にまとめられていますが、残念ながら定量的な評価がなされていないため、リユースがどの程度進んでいるか良く分かりません。

要約すると、

(1)　ファーストフード系列でリユースの情況が大きくことなる
(2)　ホットドリンクはリユース率が高く、アイスドリンクはリユース率が低い
(3)　全面リユースしている店はない
(4)　リユース食器の使用を促している店がある

等です。全体的にみると、ファーストフード店はまだ真剣にリユースに取り組んでいる状況ではなく、一部の店でリユースの意識が芽生え始めているといった印象です。

詳しい内容は、ホームページ（http://foekyoto.web.fc2.com）を参照して下さい。

以上

整理番号	受 付 年 月 日	相 談 者 氏 名	相 談 手 段
2-5-5	2010.9.28	匿名	メール

質　問 Q41

コンビニエンスストアなどの 24 時間営業は、エネルギー消費を助長していると思い ますが日本でも夜間営業規制の動きはないのでしょうか？

回 答 A41

朝日新聞は 2008 年 1 月、暮らしと地球環境をテーマに「定期国民意識調査」をおこない、その結果が新聞紙上に掲載されました。

その意識調査の中に「コンビニ店などの深夜営業」についての項目があり、83%の人が「地球温暖化のためにはコンビニ店などの深夜営業がなくても我慢する」という回答をしていました。

これをきっかけにコンビニ店などの深夜営業に対する議論が巻き起こり、その年の 6 月に京都市では、「京都市民会議」が「コンビニ店などの夜間営業の規制」を決議しました。

この決議に対して、コンビニ側は深夜営業を中止した場合の CO2 削減効果を 4%と試算し、それに対して失業者の発生や昼間の交通問題などのデメリットが大き過ぎるという理由により反対しました。（埼玉も同調の意志を示しました）

その後、深夜営業を止めても大きな CO2 削減効果が得られないという主張や、社会的な関心が盛り上がらなかったこともあり、2010 年 3 月京都市は深夜営業の規制を断念しました。

以上

整理番号	受付年月日	相談者氏名	相談手段
2－5－6	2010年12月2日	匿　名	直　接

質　問 Q67

C2C という言葉を聞きましたが、C2C ってなんですか？

回　答 A67

C2C は Cradle to Cradle＜ゆりかごからゆりかごへ＞の略称です。

C2C はウィリアム・マグダナー(米国･建築家、工業デザイナー)とマイケル・ブラウンガート（独・化学者）によって提唱された、持続可能な「ものづくり」の新しい考え方です。

従来の製品サイクルは、「ゆりかごから墓場まで」と言われ、商品は生まれたら、使われ、使い切って破棄する、「生産→廃棄」といった流れでしたが、C2C の概念では製品からまた新たな製品へ、「生産→生産」という新たな価値を生むデザインを提示しています。

以下、C2C に関してインターネットホームページに分かり易く解説した記事がありましたので紹介します。（http://chikyu-no-cocolo.cocolo.cocolog-nifty.com）

ごみを出さない、2 つの循環型のものづくり　　筆者：大坪　有香

「ゆりかごからゆりかごへ」（Cradle to Cradle(R)、以下 C2C(R)）とは、一言でいえば、「ごみ」という概念のない循環型のものづくりを表します。自然界には、落ち葉が分解されていくように、「ごみ」はありません。それと同じようなものづくりができないか、というのが発想の原点になっています。「要はリサイクルでしょう？それはいまもやっていることでは？」と思われるかもしれません。でも C2C (R)の観点からすると、旧来のリサイクルでも、最終的にはごみになってしまうので、「ゆりかごから墓場まで」のあいだで時間稼ぎをしているにすぎないのです。

C2C(R)では「ごみ＝資源」であると考えて、2 つの方法で循環させていきます。

ひとつは「土に返るもの」（生物的代謝）。生分解性に優れ、水と二酸化炭素になるものです。たとえば繊維工場で、材料はもちろん、染料や仕上げ剤などの薬品まで徹底して無害なものを選べば、そこで作られた布製品は使用後に園芸用の敷き藁などに使えるようになります。

もうひとつは「アップサイクルするもの」（技術的代謝）。回収、分解、再組み立てすることで、ごみを出しません。品質劣化を起こさず永遠に循環して使い続けられます。従来のリサイクルと区別するためにアップサイクルと呼ばれます。

たとえば丈夫なプラスチックの PC ケースがあるとします。旧来のリサイクルは、プラスチックを溶かして植木鉢や防音壁などに「ダウンサイクル」します（ダウンサイクルとは、品質を下げたり、リサイクルで余計にエネルギーや労力がかかったりすること）。リサイクルのバトンタッチが終わると産業ごみとして処分します。それに対して C2C(R)のアップサイクルでは、丈夫な PC ケースは PC ケース、自動車部品、医療機器など高品質に製品に永遠に生まれ変わり続けます。ただし当然、それを可能にするためは、素材選び、デザイン、流通のすべて C2C(R)に配慮する必要があるわけです。

以　上